

ようこそ畑へ

2010年9月21日(火)・23日(木)

【愛子】

23日は秋分の日です。昼と夜の長さがほぼ同じになる日ですが、畑にいとずいぶん夜が長くなったなあと感じます。午後6時はもう暗くて、夫が家に帰ってくる時間も日に日に早くなってきます。

札幌の日の出は午前5時19分(20日)で、豊滝ではお日様はまだ出ていませんが、明るくはなっているので、農作業は問題なくできます。ここ何日か寒い日があって、厚手のタイツをはいて、真冬のジャンパーを着て収穫をしました。冬はもうすぐだな、なんて思っていたら東の林のむこうから、まぶしい朝日が見えてきます。それは午前6時を過ぎた頃です。

これからもっと日が短くなり、そして、10月の上旬には霜がおります。お野菜の内容も夏野菜から秋野菜へと移っていきます。お楽しみに。

【寛記】

20日の夕食、伊達家の食卓には、小松菜、枝豆、かぼちゃ、さやいんげんが並びました。どれもおいしくいただきました。

僕達が家庭菜園を始めたのは、平成8年のことです。当時住んでいた旭川の公務員宿舎のベランダにプランターを並べて野菜を育て始めました。札幌に移ってからは、庭先に畑を作ったり、小さな畑を借りたりして、少しずつ面積が広がり、縁あって農家になり、今は1500坪の畑を耕しています。面積は広くなりましたが、自分が種を播き、世話をした野菜を、おいしく食べることを幸せに感じる、ということは変わっていないと思います。

先日、トモエ幼稚園で野菜を手渡している時、きゅうりの収穫量が少なくなってきたという話になりました。ある会員の方の「今年はたくさんきゅうりを楽しめたね。」との言葉に、別の会員さんが「そうだね。」と答えていて、僕と愛子も「そうですね。」と答えました。

農家になって、自分が食べておいしいと思い、それを食べて下さる方が、おいしいと感じてくださって、「おいしいね。」を共有するという幸せが増えました。畑での作業は、残り2カ月あまりです。もっとたくさんの「おいしいね」を共有できるよう、来年のことも見据えて、畑に向き合っていこうと思います。

伊達家の食卓

【枝豆（大豆）】（自家採種）

今週も大豆の枝豆をお届けします。枝豆は今週で終わりです。

【ズッキーニ】（自家採種）

枯れてきた葉を落としたら、株の元気が増してきました。もう少し楽しめそうです。

【小松菜】（自家採種）

秋の葉物は順調に育っています。畑でさわやかな緑色に育っている小松菜は、シンプルにおひたしいただきました。

【かぼちゃ】（自家採種）

かぼちゃが豊作です。今週は、1個まるごとお届けします。次回は再来週の予定です。天ぷら、コロッケ、煮つけ、かぼちゃだんご、サラダ、スープ、お菓子などいろいろと楽しんでください。